岐阜県公報

号外 (土) 平成十九年 四月 一日

目次

公 示

平成十九年度岐阜県献血推進計画の公表

(業務水道課)

ページ
一

公 示

平成十九年度岐阜県献血推進計画の公表

安全な血液製剤の安定確保等に関する法律（昭和三十一年法律第六十号）第十条第四項の規定により平成十九年度岐阜県献血推進計画を次のように定めたので、同条第五項の規定により公表する。

平成十九年四月一日

岐阜県知事 古 田 肇

平成十九年度岐阜県献血推進計画

1 目的

この計画は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（昭和31年法律第160号）、「血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針」（平成15年5月19日厚生労働省告示第207号）及び「平成19年度の献血の推進に関する計画」（平成19年3月26日付け厚生労働省告示第55号）の趣旨に添って、岐阜県における平成19年度の献血の推進に関する事項を定めることを目的とする。

2 平成19年度に献血により確保すべき血液の目標量

平成19年度には、全血採血により18,000リットル、成分採血により11,160リットル、計29,160リットル（血漿分画製剤用原料血漿割り当て量15,520リットルを含む。）を確保することを目標とする。

3 目標量を確保するために必要な措置に関する事項

(1) 献血に対する普及啓発活動の実施
県は、国、市町村及び岐阜県赤十字血液センター（以下「血液センター」という。）等関係者の協力を得て、広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、献血血液

による血液製剤の県内自給を推進するため必要な啓発を行う。

市町村は、国、県及び血液センター等関係者の協力を得て、より多くの住民に献血に参加していただくために、地域の実情に応じた啓発活動を行う。

血液センターは、国、県及び市町村等関係者の協力を得て、献血者が継続して献血に協力できるよう環境の整備を行うとともに、効果的なキャンペーンを実施する等により、献血への一層の理解と協力を呼びかける。

県、市町村及び血液センターは、県民に対し、献血の必要性や血液の利用実態等について、正確な情報を提供すること等により、献血への一層の理解と協力を呼びかける。

県、市町村及び血液センターは、県民に対し、各種の普及啓発を実施するとともに、献血者等の意見を踏まえ、その手法等の改善に努める。さらに、血液製剤の安全性を確保するため、感染症の検査を目的とした献血を行わないよう周知徹底する。以上を踏まえ、次に掲げる献血推進事業等を実施する。

ア 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県、市町村及び血液センターは、高等学校における献血への理解促進のため、学校長、保健担当教諭等との意見交換の促進を図るとともに、高校生からの献血推進のための意見募集等を行う。

県、市町村及び血液センターは、県が作成するリーフレット等を活用し、高校生及び中学生を対象として理解を深めるための普及啓発を行う。

県、市町村及び血液センターは、地域の実情に応じて、若年層の献血への関心を高めるため、学校等において、ボランティア活動である献血について情報提供を行う。

イ 献血ボランティア団体との協働の推進

県は、献血に協力する団体、企業等と行政及び血液センターとの協働を推進するため、相互の連携を促進するよう努めるとともに、これらの団体、企業等を含む献血ボランティア団体等の育成を図る。

ウ 複数回献血の推進

血液センターは、県、市町村等関係者の協力を得て、血液の在庫が不足した際に、複数回献血者の協力がすみやかに得られるよう、平素から登録された献血者に対し、機動的かつ効果的に呼びかけを行う体制を構築するとともに、複数回献血者に対するサービスの向上を図る。

エ 献血キャンペーン等の実施

県、市町村及び血液センターは、必要な血液量の確保を図るとともに、特に必要性が高い400ミリリットル全血献血及び成分献血の推進及び普及のため、全国一斉に実施される7月の「愛の血液助け合い運動」、県独自に実施する年末年始(12月16日～1月15日)の「年末年始愛の血液助け合い運動」及び1～2月の「はたちの献血キャンペーン」において、必要な啓発を行う。

県、市町村及び血液センターは、広報紙、インターネット等を活用して献血への理解と協力を呼びかけるとともに、献血場所の確保のため、関係者に必要な協力を求める。

(2) 「献血感謝の集い」の開催等

県及び血液センターは、献血血液による血液製剤の県内自給を推進し、広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるため、「献血感謝の集い」を開催する。

県及び日本赤十字社は、献血者に感謝の意を表すとともに、献血に対する理解と協力を求めるため、血液事業の推進に功績のあった団体又は個人に表彰等を行う。

(3) 献血推進協議会の活動

岐阜県献血推進協議会は、献血に対する県民の理解と協力を求め、血液事業の適正な運営を確保するため必要な事業を行う他、血液センター及び血液事業に関わる民間組織等と連携して、岐阜県献血推進計画の策定、献血に関する教育・啓発等に関する事項を検討する。

岐阜県献血推進協議会会員は、関係団体の代表者、学識経験者、その他適当と認められる者で構成する。

保健所ごとに置かれる地区献血推進協議会及び市町村ごとに置かれる市町村献血推進協議会においては、献血に対する住民の理解と協力を求め、血液事業の適正な運営を確保するため必要な事業等を行う。

4 その他献血の推進に関する重要事項

(1) 献血の推進に際し、考慮すべき事項

ア 献血者が安心して献血できる環境の整備

血液センターは、献血者が安心して献血できる環境の整備を行う。その際には、特に、献血者の個人情報保護を確保するとともに、採血の業務の管理を適正に行うことにより、採血時の安全性を確保し、採血時の事故に備える等の措置を講ずる。血液センターは、献血の受け入れに当たっては献血者を懇切丁寧に処遇し、不

<p>(1) 快の念を与えないよう特に留意する。また、献血者の要望を把握し、これを踏まえて献血受け入れ体制の改善に努める。</p> <p>県及び市町村は、血液センターによるこれらの取組を支援する。</p> <p>イ 血液検査による健康管理サービスの充実</p> <p>血液センターは、採血に際し、献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者が希望する場合はその結果を通知する。</p> <p>血液センターは、検査結果を健康診査、人間ドック、職域検査等で活用するとともに、地域における保健指導にも用いることができるよう、周知又は必要な指導を行う。</p> <p>県及び市町村は、血液センターによるこれらの取組を支援する。</p> <p>ウ 献血者の利便性の向上</p> <p>血液センターは、効率的に採血を行うため、立地条件を考慮した固定採血所を設置するとともに、移動採血車等による計画的な採血を行うなど、献血者の利便性に配慮した献血の実施に努める。</p> <p>県及び市町村は、血液センターと十分協議して、移動採血車による採血等の日程を設定し、そのための公共施設の提供等、血液センターの献血受入れに協力する。</p> <p>県及び市町村は、血液センターによる献血の受入れが円滑に行われるよう、献血場所の確保等に関し、事業所に対する依頼等の必要な措置を講ずる。</p> <p>エ まれな血液型の血液の確保</p> <p>血液センターは、まれな血液型の患者に対する血液製剤の供給を確保するため、まれな血液型の保有者に対し、その意向を踏まえ、献血者登録を依頼する。</p> <p>県及び市町村は、当該制度の推進に協力する。</p> <p>県及び血液センターは、まれな血液型の献血者に対し献血に関する継続的な情報提供を行うとともに、複数回献血を推進する。</p> <p>オ その他関係者による取組</p> <p>県及び市町村は、その職員に対し、ボランティア活動である献血に対し積極的に協力を呼びかけるとともに、献血者が供血に必要とする受当な範囲の時間を確保するための休暇の取得を容易にするよう配慮するなど、進んで献血しやすい環境作りを推進する。また、企業等に対し、その従業員等が献血に参加しやすい環境の整備を行うよう働きかけを行う。</p>	<p>(2) 供給体制の整備と在庫管理</p> <p>県及び血液センターは、赤血球製剤の在庫水準を随時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予想される場合には、供給に支障を及ぼす影響を勘案し、所要の献血推進措置を講ずる。</p> <p>(3) 災害時等における献血の確保等</p> <p>県及び市町村は、災害時における血液が確保されるよう、血液センターと連携して必要とされる献血量を把握した上で、様々な媒体を活用し、需要に見合った広域的な献血の受入れを行う。</p> <p>県及び市町村は、災害時において、血液センター等関係者と連携し、献血により得られた血液が円滑に現場に供給されるよう措置を講ずる。</p> <p>血液センターは、災害時における献血受入れ体制を構築し、広域的な需給調整等の手順を定め、県及び市町村と連携して対応できるように備えることにより、災害時における献血の受入れに協力する。</p>
--	---

平成十九年四月一日印刷
平成十九年四月一日発行

発行者
発行所

岐阜市藪田南二丁目一番一号
岐阜県庁

印刷者
印刷所
定価一か年
四八、〇〇〇円(送料共(消費税二、二八六円を含む))
岐阜市三輪ふりとびあ十三一
岐阜市三輪ふりとびあ十三一
岐阜県尾文芸社